

女川原発の 再稼働を許さない！

2012 みやぎ秋のつどい

田中三彦さん 講演

「福島原発事故の実態と女川原発再稼働の問題点」

◆ 県内各地からの発言（予定） ◆ ブース出店（予定）

11月3日（土・祝） 13:30 開会 参加費・500円

会場 仙台市 元寺小路教会大聖堂（定員約350人）

仙台市青葉区本町1-2-12

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい

主催 「女川原発の再稼働を許さない！
2012みやぎ秋のつどい」実行委員会

<実行委員長> 鈴木 宏一

（女川原発脱原発推進委員会 元仙台弁護士会会長 元日本弁護士連合会副会長）

問い合わせ 篠原弘典（みやぎ脱原発・風の会 代表）

TEL&FAX 022-373-7000
Eメール 連絡 hag07314@nifty.ne.jp

賛同団体・個人大募集

団体一口 3000円

個人一口 1000円

下記に振替をお願いします

郵便振替口座 02220-3-49486

口座名 みやぎ脱原発・風の会

※必ず「11.3賛同として」と記載をお願いします

※賛同された方は、当日のパンフレットに名前を記載いたしますので、掲載 可・不可のいずれかを明記をお願いします

宮城の復興に原発はいらない

大飯原発の再稼働問題に端を発した東京・首相官邸前デモが仙台など全国に波及するとともに、国の意見聴取会やパブコメでも70%~90%の方が「原発0%」を支持するなど、「脱原発」を求める世論が高まっています。一方、女川原発については、震災のダメージが大きいこともあり、まだ具体的に再稼働は日程にはあがっていませんが、東北電力は株主総会などで再稼働に向けて「強い意欲」を示しているとともに、村井宮城県知事も国がGOサインを出せば即応じる姿勢を崩していません。女川原発の再稼働問題はまさにこれから宮城県民はもちろん、国の大きな議論の的になるのは間違いないでしょう。

そのような中で、私たちは改めてこの女川原発の再稼働問題を考える場として「みやぎ秋のつどい」を開催いたします。

国会事故調のメンバーである講師の田中三彦さんは、原子炉の構造に大変詳しい方で、福島原発事故の実態とともに、女川原発の何がどのように危険なのかを専門的な見地からお話頂きます。また、県内各地からの発言などを通して、各地各層のつながりもつくっていきたく考えておりますので、ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております。



女川町を襲った大津波で破壊されてしまった、原発事故時に対策拠点となるはずの原子力防災対策センター（オフサイトセンター手前）と副都庁所有の放射線測定器の全てが覆われてあった原子力センター



Profile
田中 三彦 さん

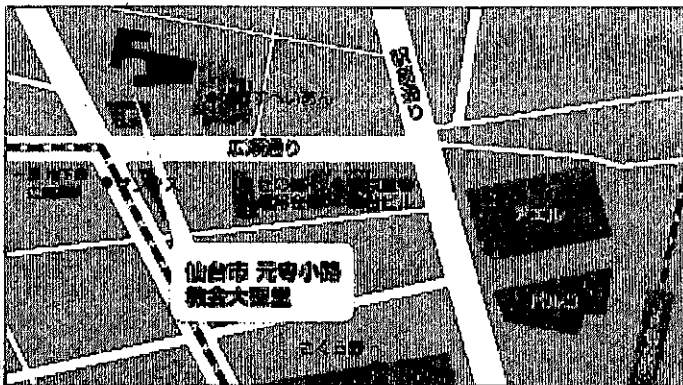
科学ジャーナリスト
国会事故調査委員会メンバー
福島第一原発4号機などの原子炉圧力容器の設計に関わる
女川原発禁止訴訟でも原告側証人として証言

会場

仙台市 元寺小路教会大聖堂（定員約350人）

仙台市青葉区本町1-2-12

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい



●JR仙台駅より徒歩10分 ●地下鉄広瀬通駅より徒歩5分

